

2024年度岩手大学環境目的、目標及び活動計画

IE1-6-1
最終改定日 2024.3.28

環境方針等	EA21要求事項	環境目的	環境目標	活動計画	行動の責任部署	監視測定責任部署	備考
キャンパス環境の改善		サステナブルキャンパスの構築を図る。	分かり易い環境マネジメントシステムの運用を図る。	1.持続可能な内部監査体制の構築を検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
				2.環境マネジメント対象範囲及び新規WGの設置について検討する。			
エネルギーの使用	二酸化炭素排出量の削減	エネルギー使用の削減を図る。	エネルギー別に再生可能エネルギーへの転換について検討する。	1. A重油から転換可能な再生可能エネルギーを検討する。	施設課 環境影響評価WG	EMS推進室	
		CO2排出量を2030年度に2013年度比約50%の削減を図る。	策定した実行計画 ¹⁾ を基に実施体制を検討する。。	1.環境活動WGの再編を検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
				2.キャンパスカーボンニュートラルに向けた取り組みについて検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
3.脱炭素への取組課題を共有する地方公共団体や地域企業と、情報交換や連携を図る。	新体制WG	EMS推進室					
資源の使用	水資源の削減	資源使用の削減を図る。	雨水利用について検討する。	1.修景・観水用水としての利用を検討する。	施設課 環境影響評価WG	EMS推進室	
グリーン購入		環境会計からの環境活動評価を検討する。	グリーン購入の指標化を図る。	1.大学、企業等の環境報告書を基に指標となり得るデータ収集を行う。	環境影響評価WG	EMS推進室	
			環境保全コストの見える化を図る。	2.環境保全コストの現状及び変化について明らかにする。	経理課		
廃棄物等の排出	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減を図る。	リサイクルの推進に向けた取組みを行う。	1.リサイクルクエーションを周知し、回収を図る。	EMS学生委員会	EMS推進室	
環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	大学における環境教育・環境人材育成を推進する。	効果的な環境人材育成プログラムの再構築を図る。	1.令和7年度以降の環境人材育成プログラム体制を確立する。	環境教育WG	EMS推進室	
			学部生への効果的な環境教育を実施する。	1.学部2年生に関する環境教育受講周知と研修計画について検討する。	環境教育WG	EMS推進室	
		附属学校における環境学習の充実・発展を図る。	附属幼稚園では、花や野菜の栽培を通して、植物が育つ環境について関心をもつ活動を行う。	1.花の栽培や野菜作りで水やりや草取りなどの世話をする。それらを通して、自然の美しさ、豊かさ、不思議さなどに気づいたり、成長する様子に関心をもったり、命の大切さを感じたり、収穫の喜びを味わったりする。	附属幼稚園	当該ユニット責任者	
			附属小学校では、「総合的な学習の時間」等を活用し、自然観察や地球温暖化の学習など環境について学ぶ場を創る。また、委員会やたてわり活動を通して、環境に配慮した活動を行う。	1.ボランティア委員会等の活動として、学校周辺や地域の落ち葉拾い、冬季の除雪作業などを行う。	附属小学校	当該ユニット責任者	
環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	附属学校における環境学習の充実・発展を図る。	附属中学校では、環境を守りはくくむ心と感受性を育て、環境美化活動、エネルギーの節約等に配慮した生活・行動を実践できるよう指導する	1.生徒会活動による校地及びその周辺の清掃・環境美化活動を行う。	附属中学校	当該ユニット責任者	
				2.ボランティア委員会による附属幼稚園等の清掃・環境美化活動を行う。	附属中学校	当該ユニット責任者	
		附属特別支援学校では、作業学習等で使用する原材料のリサイクル化を推進するとともに、委員会活動や生徒会活動における資源回収を通して環境活動を実施する。	1.空き缶、古新聞等の「資源回収」は全校に呼びかけ、中学部の委員会活動で取り組む。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者		
			2.高等部環境整備委員会では、ペットボトルキャップの回収作業、校内及び敷地内の学校環境整備に目を向けた活動に取り組む。具体的には、節電等のポスター制作、落ち葉掃き、草取り等を予定している。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者		
学生の自主的な環境保全活動を推進する。	EMS学生委員会では環境活動を積極的に実施する。	1.環境活動の取組状況を委員会内で共有できるシステムを構築する。	EMS学生委員会	EMS推進室			

環境関連研究	研究及び地域や社会への還元	大学・大学院における環境関連研究を推進する。	環境関連研究の見える化を図る。	1.環境関連研究の情報発信を進めるための方法について検討する。	新体制WG	EMS推進室	
			各学部・研究科の特色を活かした環境関連研究を推進する。	1.人文社会科学部としての総合科学的な環境関連研究を推進する	人文社会科学部	EMS推進室	
				2.教員養成学部として、学校現場などの教育実践への活用や地域ニーズに応える環境関連研究を推進する。	教育学部	EMS推進室	
				3.ソフトパス理工学の理念に基づき、ソフトパス理工学総合研究センター及び学部・研究科における持続可能な社会づくりに向けた理工学分野の環境関連研究を推進する。	理工学部	EMS推進室	
				4.農学部として農林漁業の発展に資す環境関連研究を推進する。	農学部	EMS推進室	
構内事業者の取組	構内事業者の環境配慮活動の推進を図る。	放送大学岩手学習センターにおいて環境に配慮した取組を実施する。	1.放送大学学生に環境保全活動の啓発を推進する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者		
		プラスチックごみの削減に努める。	1.弁当リ・リパック容器の回収リサイクル率向上のための新しい取り組みを検討する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者		
		食品残渣のリサイクルを検討する。	2.調理加工済みの食品残渣リサイクルに向けた方法を検討する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者		
地域社会に対する取組	社会貢献	三陸沿岸地域の環境産業の振興を図る。	持続可能な漁業に向けた取組を行う。	1.地域でのイベント等で機会があれば、本キャンパスでの研究や調査などで得られた知見を活かし、講演や発表、展示等を行う。	釜石キャンパス	EMS推進室	
法規制順守		環境に関わる法規制を遵守する。	法規制に関わる製品の購入・使用・廃棄時には法規制遵守評価シートによる確認を行う。	1.ボイラー、フロン類使用製品の購入・使用・廃棄時には法規制遵守評価シートによる確認を行う。	全ユニット	EMS推進室	

1) 岩手大学がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画
文科省が実施する2022年度地球温暖化防止対策調査時にひな形添付